

---

# 俺の夏は高校野球

真田つかさ

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

俺の夏は高校野球

### 【Nコード】

N02070

### 【作者名】

真田つかさ

### 【あらすじ】

大分県のどこかにある県立伊予ヶ丘高校。

夏の甲子園で優勝経験がある強豪校。

ピッチャーで新人の明野雄大によって、

さらに部には活気があふれるようになった。

苦難を乗り越えて、雄大たちは

甲子園出場・優勝することができるのだろうか。

## 球拾い

大分県立伊予ヶ丘いよのがおか高校野球部１年でピッチャー・明野雄大は、あけのゆうだい甲子園に向けて頑張っている先輩のために、球拾いしていた。

「……」

雄大は、口をポカンと開けて憧れの３年ピッチャー・小野寺大河とおのでらたいが３年キャッチャー・葉山宏一はやまこういちのピッチングを見ていた。

「カッコええなあ……」

カッコいい容姿からは想像もできないほどマヌけに口をあけているから、

すぐに２年に見つかってしまう。

「こら！ その１年ボーっとしてねえで、球拾え！」

「ウス！」

はっとして雄大は我に戻り、球拾いを続けた。

球を拾っている途中でも、雄大はあのバッテリーがどうしてもかっこよくて、思わずまた見てしまう。

少し…、少しだけ…と思っていると、

どんだん口が開いてきて、またさっきのようになってしまう。

今度は、目の前に２年がやってきて、頭を小突かれる。

「あいたっ」

「おーまーえー！ 球拾えって言うてんだろー！」

「すいませんっ」

２年も、忙しいのにわざわざ小突きに來てくれてご苦労なこったい、と内心思いながらも、

もう雄大は球拾いに集中していた。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n0207o/>

---

俺の夏は高校野球

2010年10月8日12時33分発行